

教育目標 やさしく かしこく たくましく

経営理念 華のある学校をともに作り、ともに磨く

【学校の華】：強み・自信・よき伝統

■ 育てたい子ども像

- ☆ 礼敬 人にやさしい子ども
- ☆ 自律 自分にきびしい子ども
- ☆ 協同 みんなと力を合わせる子ども

■ スローガン

「夢出せ!・知恵出せ!・元気出せ!!」

- 【夢出せ】 人・活動への「憧れ」から始まる「夢」の創出
- 【知恵出せ】 不易と流行、本質を見極め、変革へのアイデアを
- 【元気出せ】 夢の実現に向けた「健康管理」と「エネルギー充填」
※ 憧れを原動力に

憧れ

■ 本年度の重点項目

- 重点1 正しい人権感覚や感性を育み、参加意識と自尊感情を高める学級づくり
- 重点2 子ども理解を元に、学びの質を高める授業改善（主体的・対話的で深い学びの実現）

■ 具体的実践事項

学びづくり

心づくり

健康づくり

- 1 主体的・対話的で深い学びのある授業づくり
 - 学習の構えの定着(腰背タイム)
 - 考える時間の確保と、児童の相互交流(「見える化」の推進)
- 2 基礎基本の確実な定着
 - 家庭学習を含めた反復練習の重視
 - 学年テスト、大小ドリル等での基礎基本の習熟
- 3 豊かな感性と思考力・表現力の育成
 - 表現活動、体験活動の充実と発信
 - 読書、読み聞かせの継続と充実

- 1 共感的人間関係を育む仲間づくり
 - 生徒指導の三機能(自己決定・自己存在感・共感的人間関係)を生かした各種行事・活動の工夫
 - 人権・同和教育教材集の活用
- 2 問題行動の未然防止と早期対応
 - 全職員による情報交換による共通理解の場の確保
 - 人・活動への「憧れ」を基盤にした規範意識・自尊感情の醸成
- 3 特別支援教育の充実
 - 通級教室を核に支援体制の充実
 - 校内委員会等の定期的な開催による情報共有の場の確保

- 1 体力づくりの日常化
 - 外遊びと体力づくりの習慣化
 - 評価カードの充実と支援の工夫
- 2 健康良習慣の育成
 - 生活リズムチェックカードを活用した取組の重点化(睡眠)
 - 関係機関との連携強化
- 3 危機管理意識・能力の育成
 - 危機管理意識・能力を高める場の確保(安全点検と訓練を核に)
- 4 相談指導体制の充実
 - SC、SSW等との連携強化
 - 健康相談体制の整備

学校、家庭、地域、関係機関等との連携と深化
(地域学校連携活動を中心に)